

P-1-2

黒酢含有食品の高血圧及び体質改善効果

Effect of Kurozu-containing foods on hypertension and body constitution

○濱舘 直史¹⁾, 許 鳳浩²⁾, 松本 祥幸¹⁾, 田崎 磨美¹⁾,
瀬戸 加代子¹⁾, 川端 克司³⁾, 鈴木 信孝⁴⁾

- 1) 株式会社えがお 研究開発部, 2) 医療法人ホスピター 浦田クリニック統合医療研究所,
- 3) NPO 法人代替医療科学研究センター
- 4) 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 臨床研究開発補完代替医療学講座

We investigated the effects of Kurozu-containing foods on hypertension. Forty subjects with slightly high blood pressure subjects were assigned randomly to 2 groups (active group and placebo group). Kurozu-containing foods or the placebo was administrated to the subjects for 12 weeks a day. At week 0, 6 and 12, blood samples were collected, physical measurements were taken, and the quality of life (SF-36v2) and body constitution were examined. Significant difference on blood pressure and constitution between the groups were observed at week 12. These findings suggest that foods containing Kurozu have hypotensive action and improve effects on constitutional problems. In addition, it was confirmed that foods containing Kurozu are safe to ingest.

【目的】

本試験は、黒酢含有食品による高血圧改善効果が無作為化プラセボ対象二重盲検並行群間比較試験によって検証することを目的とした。

【方法】

被験者は、血圧が高めの男女 40 名を無作為に、黒酢を含有する食品または黒酢を含有しない食品に割付した。12 週間摂取してもらい、血圧、QOL (SF36v2) や体質調査票の調査に対する影響を検討した。試験食品は 12 週間毎日摂取とし、摂取 0 週、6 週、12 週に採血、身体測定、QOL (SF36 v2) 調査、体質調査を実施した。有効性の評価項目は、血圧、SF36 v2 国民標準値得点及び各体質の標準化得点とし、安全性の評価項目は、有害事象（自覚症状、他覚所見、検査値の異常変動）の有無、理学的検査値、臨床検査値（血液及び尿）から評価を行った。

【結果】

黒酢含有食品を 12 週間連続投与したことにより、収縮期血圧を低下させることが認められた。日常役割機能（身体）や社会生活機能などに改善が観られた。未病体質において、陽虚質及び特稟質の標準化得点が改善され、体質改善の可能性が示された。本試験食品による有害事象は認められなかった。

【結論】

黒酢含有食品を摂取することで、高血圧、陽虚質（冷え性など）及び特稟質（アレルギー体質など）の体質改善に有効であることが示唆された。また、安全に摂取できる食品であることが確認された。